廿一日夕刊

磐城時報

（大正八年三月七日第三種郵便物認可）

昭和五年七月廿二日　THE IWAKIJIHO　（火曜日）　第四千九百四十九號　（一）

福島縣石城郡平町紺屋町十四　編輯兼發行人　岡田弘成
福島縣石城郡平町紺屋町十四　印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五　發行所　磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金參拾錢　廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日休刊）

軍艦北上參觀者で 小名濱町賑はふ

二十日小名濱港に入港 けふから簡閲点呼

本縣在鄉海軍兵の簡閲点呼を行信所を設置し相互の通信を行つふべき軍艦北上は豫定の通り二てゐる、午後から一般の十日午前八時小名濱沖合に雄姿學を許したが雨中をも厭はず消を現し、同八時三十分小名濱港防船に乘つて見學するものが多に入港、昨年同樣同港築海沖合數あつた、北上は今二十一日明二浬の位置に碇泊した、町民を二十二日の午前中は艦上點呼をの他六百名は海岸に群集して手行ひ、午後から一般の見學を許をあげ萬歳を叫んで歡迎した。し、二十三日朝五時半希望者を軍艦乘組員各五百名は二交替で便乘せしめて、宮城縣女川港に向上陸先發隊は陸上に假設無線電け出航する。

▲支那事變功勞者

平町長橋町松本與三郎、白銀町土屋重勝の兩氏は支那事變に出兵した功により賞勳局總裁から金五十圓宛を下附された。

▲磐城高女水泳

縣立磐城高等女學校全生徒の今年度水泳練習は來る八月一日から六日まで、石城郡小名濱海岸において開催する。

賭博場に踏込んで 刑事胸を蹴らる

首魁吉田廣三郎逃走

平町掻揃小路吉田廣三郎（五二）の方で二十日午後六時頃數名車座となり花合せ賭博中平署刑事が踏み込んだ處一圓は警官に抵抗し瀬谷刑事は胸部を蹴られて重傷を負ふたが。

平町南町前科八犯西牧常八（五三）同驛前伊藤康一（六二）同大工町黒次郎（四九）同内郷村野口忠政（四五）飯野村加藤武之助（四〇）の五名を逮捕した、首魁吉田廣三郎は逃走し行衛不明となつたので平署で捜索中であるが、吉田は逮捕されれば過般闘鶏賭博で懲役を言渡され執行猶豫の恩典に浴してゐたのを取消されるであらうと。

石城郡内小學校の 缺食兒童を調査

石城地方共濟委員會開催

各校を通じ缺食兒童が漸次增加二するに鑑がみ、これが對策を講室じむため石城郡の共濟委員會では先月の例會において各方面委員がそれぞれ調査する事になつてゐたので、その結果につき廿給食を講ずる筈、尚理事長及理事が任期滿了となつたので改選を行ふ筈であるが大体再選の模様である。

▲磐越銀行總會

平町磐越銀行總會は二十日開催、中野頭取、株主十六名出席昭和五年上半期決算を協議した後重役改選の結果全部重任と決定した

ハガキ集

（投書歡迎）

▲四倉町を走る自動車は最近全く無警察の狀態だ、ドロ除けはなし、超スピード通行人ばかり迷惑だ。（傍觀者）

平町の 印紙稅檢査

平町本年度印紙稅檢査は二十一日、二十二日兩日午前八時より午後三時まで平稅務署で執行中であるが檢査を受く可き物品は昭和四年以降作製の證書、帳簿家賃通帳、日掛、月賦掛通帳等で同檢査に限り無印紙又は不足稅のものあるも檢査官吏の面前て相當補正するときは當日處分せられず、受檢査を怠るとき、或は檢査物件の一切を隱匿して檢査を受けぬ疑のある向に對しては更に店舗、居宅に就き檢査を執行

一、證書、帳簿にして疑問とせらるゝ物件に對して說明をなす僕等は茅ヶ崎の街外れで休憩した。大きな松の木が一本あつた田卷、綿引の兩君は糞を拔きに裏の林に入つた。僕は延び〳〵と青空を眺め平への通信を書いた。前は有名な馬入の流れだ、その上にのしかゝる樣に架された大鐵橋は彌次、喜太の昔日を嘲ふが如く、正に進化の烙印を捺してゐる。

平塚も大磯も共に一見都會風の町ではあるが、長さはあつても幅がないのは何よりの傷だ、いずれも最近の街ではあるが

日沒だ。僕等は宿を失つてしまつた、數つかの寺院、學校に斷はられ、結局僕等は海岸松林間にキャンプすることになつた。がやらずに濟んだそれは親切な酒匂村の青年團長鈴木氏の好意で土地の青年會館へ一泊することが出來たからである。

明日は早く箱根の嶮を突破すると云ふ。

料理屋の女將連 續々召喚さる

桑原の取調べ進む

平郵便局の公金橫領犯人桑原庸植田繭市場と勿來繭市場との關夫（三八）については平檢事局武係については昨報の如く勿來で田檢事係りにて取調べ中であるは向後の方策に對しそれ〴〵協が、二十一日には平署に命じ桑議を重ねつゝあるが、久ノ濱鑛原が遊興した平町新田町料理店業取締支所愛宕所長等のせう後九月中に平町住吉屋本店に於三益、やぶ、谷口、青柳、初音もあり大體の意向は植田と合併て磐城地方刀劍大會を開催、磐城地壽々喜亭、松のすし、一力、千仙臺、水戸、東京方面からも名方刀劍の陳列がある外、福島、代本、湯本町昭和館、備中屋、刀が出品される豫定である、大會當日は本郡刀劍會の大家本阿山形屋、四倉町太平館等であるが、彌光遜氏が來平鑑定講演する筈が、日を逐ふて藝妓その他の召喚を見る模樣である。

植田、勿來 繭市場合併か

刀劍保存會生る

加藤、長谷川、池林等發起

石城地方刀劍の愛翫者加藤丈夫長谷川豊吉、池林國三郎等各氏が發起となり今回磐城刀劍保存會を組織したが、目下會員募集中である、來る八月三日午前十時から平町住吉屋本店に於て組織準備會を開き會長、幹事、評議員等の改選を行ふ筈であるが當日は夫々刀劍を持寄り批評研究をなす筈で、役員が決定した後九月中に平町住吉屋本店に於て磐城刀劍大會を開催、磐城地方刀劍の陳列がある外、福島、仙臺、水戸、東京方面からも名刀が出品される豫定である、大會當日は本郡刀劍會の大家本阿彌光遜氏が來平鑑定講演する筈

▲山野邊氏歸平

平町五町目山野邊東次郎氏は二十日水戸市に開かれた茨城縣藥劑士會に出席して歸平した。

平から神戸まで

田卷、長瀬、綿引三君の自轉車旅行

第四信

靜岡縣藤枝町運生寺にて

早朝僕等は東京を登つた。京濱間のあの有名な道路の上を僕等は滑るやうにして西進した。

品川だ。ボーと一七時のサイレンがうなりだす、出勤時間だ、見る間に街の辻辻からは人間が蛹のやうにおどり出る。輕快なサラリーマン、勇敢なバス嬢、活潑な學生等の群々が寸時にしてさしもの大通りを征服しつくしてしまう道路はいよ〳〵圓滑、車は益々快走……

途中、川崎大師に參詣、十時半橫濱鶴見に着し、總持寺の愉快な坊主連との會談數分の後、僕等は市役所、築港に向つた。

鎌倉は今道路を盛んに修してゐる、或はそれが市制を布かんとする野心からではないか。それより大佛、他に三ヶ所の舊跡を訪ねて由比ヶ濱邊に出た。「七里ヶ濱は波のしぶきに霞み」なんてそれはうそだ。遙か彼方と思はれた江の島はぢき眼の前ではないかこの地一帶の風景と我が石城新舞子との對比こそ面白いと僕等は考へる、後者の如何に秀でたることよ。だが此處に問題はそんな小さな形態にあるのではなく、彼は歷史的に斷然の格段さがあるのだと云ふ事實はひどく僕等を失望させ、また滿足せしめた。

次は藤澤だ。

諸兄姉、僕等は常に記事のみを問題として個人に關する消息はおこたり勝ちではあつたが、僕等の健康に就いては安心して戴きたい。一日に水は二三升程飲用するが腹は確かだ。通便もあれば、屁も出る、一行は益々健康だ。

▲ビール麥査定會

石城、岩瀬、西白河三郡ビール麥査定會は十九日午前十時から平町、石城各種團體事務所に縣農會より大山技師出席開かれた石城郡は二百石、岩瀬郡は百五十石、西白河郡は三百七十石合計七百二十石で、販賣は來る八月一日から二十日までに行はれ茨城縣二等大麥の相場を標準に一等三割二分、二等三割、三等二割八分であるが、本年から安積、田村その他の郡も參加する由がある。

讀者論壇

（投書歡迎）
一行十三字詰
卅行以上五十行迄

不景氣（上）

小山の雀生

不景氣といふ言葉はもう聞き飽きた、けれどもそれを口にしないでは居られない程不景氣は深刻化してゐるのだ。

□

金解禁後の不景氣は農村までも物凄い爪牙を揮ふてゐる。そして俺たちの生活を極度に脅かしてゐる、所謂飢餓線上に彷徨してゐる、家族が數知れない悲慘な事實が俺の村に澤山ある。

□

俺たちの主要物はどし〴〵低落して仕舞つた、けれども稅金はチョッピリも減少されない、結局この不景氣に增稅されたも同然である、誤傑爲政治家たちに「農村振興策」だとか「肥料分配案」だとか度々聞かされて來たがそれはみんな机上の誤迷論で、選擧の時に俺たちを瞞着しやうとする手段に過ぎないと思ふ。

□

失業問題は喧しくなつてきたそれは石城ばかりの問題ではあるまい、農村では生產組織の高度化―が緩慢ではあるが―なされつゝるあが爲めに自然過剩人口が增加しつゝあるだのに都會で合理化された者は歸農せよと云つてゐる。失業問題が農村に及ぼす影響を當局者は御存じないのかしら

胃腸　專門　內科　十二指腸虫病
梅毒　專門　淋病　婦人病　皮膚病
松村胃性腸病科醫院
平町南町（電話一〇七）

貸家あり
平町新川町十七番地
商店向き
家賃十四圓五十錢
平町新川町
中野勇吉
電話一三三番

葵
花物
五色物
安く讓ります
平町新川町（郵便局裏）
中野勇吉
電話一三三番

磐城刀劍保存會生る
我國三千年來大和魂の眞髓武士道の精華である刀劍は其影を消さんとする傾嚮あり邦家の爲め慨歎に堪えざるため茲に磐城刀劍保存會として刀劍の研究と保存の團體を組織する事になつた、奮つて御入會あらん事を希望する記
八月三日　於住吉屋本店
磐城刀劍保存會組織準備會當日役員決定
九月　平町住吉屋本店に於て
磐城刀劍大會を開催
當日は東都刀劍の大家
本阿彌光遜氏來平講演
發起人一同

吉田眼科病院
平町紺屋町
電話六八番

取消廣告
昭和五年五月八日付發行記事中「心細い齒科醫壽々木金太郎の病態」と題した記事は事實と相違の点有之候間右取消申候
平町白銀町
いはき新報社

開店御披露
瀨戸物・銘茶各種
磐城四倉本町（辰ノ口酒店隣り）
さかいや
波多野商店

生命保險界の王
世界的大會社
加奈陀サン生命保險會社
本社　英領加奈陀モントリヲノル市
平代理店　加藤丈夫
湯本代理店　長岡義守
契約高　五十億
資產　十一億
◎尤も特色あり、尤も有利なる保險契約

美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす
滋強第一
スッポン飴
大阪東區谷町壹
本舖　檜尾長命堂
各藥舖食料品店ニテリ
スツポンヘモクロビン錠
定價三圓
スツポン酒定價二圓
代理店
平町五丁目角
山野邊藥局

專門　內科一般
內科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話七二二番）
川井內科診療所
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

耳鼻咽喉科專門
入院應需
平町仲田町七一
合津醫院
電話五五九番

平新川町十九
木村病院
電話一六四
產科　院長　木村寅次郎
婦人科　女醫　木村コウ
內臟外科　整形外科　醫學士　松永憲一
藥局　東京藥學士　萩原駿二

外科專門
X光線科
平町南町
上田外科醫院
電話一二九番
病室完備
入院應需

平町田町（電話五一三番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
內科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科

平看護婦會
會長　清野キヨ
平町字南町【電話三〇七番】
看護婦派出の需めに應じます